



みんなで楽しく気軽にちよつとずつのボランティア



10月17日、福岡県社会福祉大会において、福岡県知事より表彰状が2団体、感謝状が10団体に授与されました。

表彰状：たんぽぽの会
配食ボランティア青い鳥
感謝状：お話ほっとたいむ
ステージオペレーター
ナレーションサークル風
青い鳥文庫
めだかの楽校
スマイル
子ども見守り隊
子育てボランティアちゃお²
たけのこクラブ
折鶴会

ボランティアroom

身近な“あの人”にちょっとイイ話をインタビュー

めだかの楽校

こころ豊かに暮らそう



平成12年大堰アンビシャス広場が開設され、子どもの居場所作りのサポート役として発足した「めだかの楽校」！現在、大堰小学校の80%にあたる子ども、70名がアンビシャス広場に登録。子どもたちは、料理、囲碁や将棋、ソーラン節、エコ活動、お茶、コマ、山登り、Xmas会、キャンプ、田んぼりピックなど、いろいろな経験を楽しんでいます。



また、学校での体育館遊びや、月1回のアンビの日には、みんなが一堂に会して交流を深めているそうです。そういう子どもたちの居場所づくりのボランティアをしているのが「めだかの楽校」。ボランティアさんは、30代から70代と幅広い年齢層の34名。常に本音で意見を交換しながら、子どもたちの意見を聞きつつ活動をしてきたそうです。



「めだかの楽校」 ボランティアさんの

声

「苦節13年、大変なこともたくさんあるけれど、やりがいがあるから今までやってこられた」

今の課題は新しい仲間がなかなか増えないこと。無理をせず、子どもと共に楽しみながら長く続けて行きたい。

同じ心をもった皆さんの協力があってこそ、今まで続けてこられ、感謝しています。これからも、結束して自分探しのためにもボランティアをしていきたい。リタイア後の生活にボランティアを加えてみませんか？私たちと一緒に！

皆さんにこやかな表情で話して下さいました。

ほっこり井戸端サロン

～お茶を飲みながらみんなで楽しく～



「私がボランティアを始めた理由」 9月28日

今回のほっこり井戸端サロンは、化学療法を受けている人に「タオル帽子」を贈るボランティア、『あいう笑がお』代表・西大刀洗の末次由美さんをゲストに開催しました。



末次さんは、2010年に乳がんを切除、化学療法で頭髪が抜けるなど心身ともに弱っていた時に、友人から「タオル帽子」を贈られ、その思いやりに救われたそうです。頭だけでなく、気持ちも温かく包みこんでくれる「タオル帽子」。自分と同じ思いをしている人を励ましたい：そんな思いから活動を始めたそうです。共感する人が次第に増えて、毎月1回の活動日にはたくさんの方がタオルを持参して和気あいあいと「タオル帽子」作りをされています。また、そのような活

動をマスコミでも取り上げられ、活動の幅も広がってきているそうです。今では何事にも積極的に活動されている末次さんですが、人には言えない痛みや苦しみをたくさん経験されたと思います。素敵なご主人やご家族に支えられ、パワフルに活動されている末次さんは今とても輝いています。



次回予告

■日時:平成26年1月25日(土)
午後1時30分～
■場所:ぬくもりの館
■テーマ:
「知り合えて、一緒に何かをすれば友達になる」
ゲスト:「タディクラブ」
代表 實藤 俊彦さん

大刀洗ドリームまつりに参加して

大刀洗町男女共同参画 もちのきの会 古賀 そのみ



今年は「ボランティア連絡協議会」と「ボランティアセンター」との共同で出店。私は、「もちのきの会」の一員として参加しました。

小学生以下の子どもを対象に、ボランティアクイズに答えて賞品をゲットするという初企画でした。予想以上の賑わいで、延べ180名を超す子どもたちがテントに足を運んでくれました。

クイズの答えに『ボランティア活動は自らすすんでする活動』というのがあり、この気づきに何人の子もたちがいたのだろうか!?と思いました。今年は大刀洗中学校からもボランティアの参加があり、大いに盛り上げてくれました。

地域の方々と関わる大切さ、支え合う大切さ、共に活動し、協調性を養い、達成したときの喜びを共有する。多くを学び、多くの方々との出会い、素敵な一日をありがとうございました。



頭スッキリ・ココろほっこり!

ボランティア入門講座に参加して

お話ほっとたいむ 矢ヶ部 美夕紀



10月5日「motto ひょうご」の栗木剛さんを迎え、ボランティア入門講座が開催されました。会場に入るとニコニコと私たちを迎え、元気よく挨拶されたのが講師の方ではじめから驚かされました。その上、マイクいらすの大きな声で、吉本興業のコント風お芝居も交えた

笑いの絶えない講座でした。

私たちも、講師の笛の合図で何度もテーマに沿って隣同士おしゃべりし、一緒に講義を進めている実感がありました。

ボランティアには、後継者が集まりにくいという現状があります。現代の人は、以前のように助け合いの機会がなく、「ボ

ランティアがわからない」「ボランティアは大変」というイメージもあるからです。けれども『出かける、人と会う、話す』ことは、脳の刺激になり、脳のトレーニングにもなります。そのためか、活動に参加している人は若々しく元気な人が多いようです。講座に参加された皆さんも帰る時は表情がイキイキとしていました。

これからの人生を健康に過ごすためにも、皆さん、気軽にボランティア活動を覗いてみませんか?そして、一緒に楽しく元気になりましょう。



■受賞団体からひとこと 福岡県知事表彰受賞 配食ボランティア青い鳥



本郷校区代表 平田 茂子さん

4校区37名のボランティアを代表してご挨拶申し上げます。

受賞、ありがとうございます。

配食ボランティア「青い鳥」に入会して14、5年になります。皆さん方と楽しく弁当を作らせてもらっています。

今年の3月にご利用いただいている方に、満

足度をお聞きする、アンケートを行いました。内容は、「お食事には満足いただいていますか」ということから、「味つけ、温かさ、量、かたさ、お好きなメニュー」等をお聞きしました。おおむね満足いただいているようですが、ご意見や感謝の言葉が書かれており、これからの弁当作りに大いに参考にし、楽しく弁当作りを続けていきたいと思っています。

■ボランティア見学してみませんか?

活動の様子をちょっと見てみたい方、ボランティアセンターがおつなぎします。個人でもグループでもお気軽にどうぞ。

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>

大刀洗町ボランティアセンター

TEL 77-4877 FAX 77-6220

本格的な冬に入り、あっという間の一年でした。みなさんも風邪をひかぬよう、よいお年をお迎え下さい。♪♪

スマイル

代表 福 村 宮 生

福 村 千代美

松 本 哲 雄

矢ヶ部 美夕紀

田 島 孝 三



編集スタッフ